

部品交換要領書

玄関引戸 れん樹[DE]用 戸先錠ケース

HHW13-082
2017年12月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

戸先錠ケース		取付ねじ(共通)
HH-5K-17801A(ラッチ無)	HH-5K-17805A(ラッチ付)	 戸先錠ケース取り 付け用：2本
 戸先錠ケース：1個 下部連結板(固定)	 戸先錠ケース：1個 下部連結板(可動)	
		部品交換要領書 本書 1枚

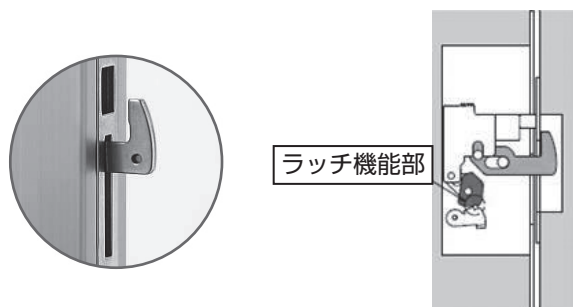
作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど
 1本	 1本	

※部品が全てそろっていることを確認してください。
※戸先錠ケースには、○印部の下部連結板の形状の違いによりラッチ無とラッチ付の区別があります。

用語の説明

「ラッチ付」:引戸閉じ時のはね返り防止機構が付いた錠



引戸を勢いよく閉めたときに引戸が枠からはね返ろうとしても、戸先錠の鎌がかかって、引戸のはね返り(開き)を防止する機構

※部品の取りはずし・取り付け方は3～11ページをご覧ください。

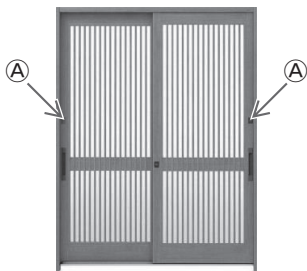
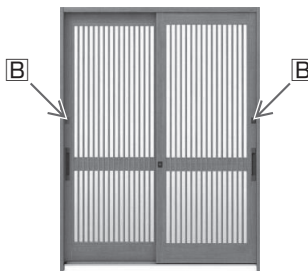
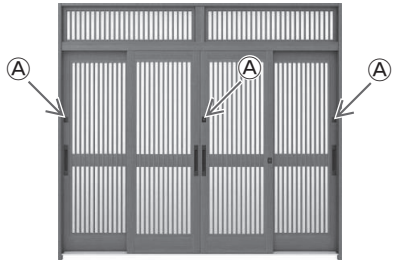
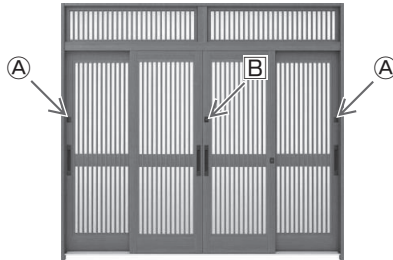
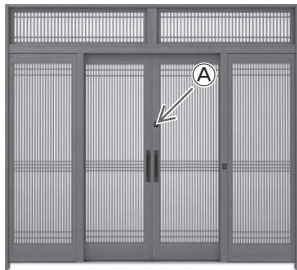
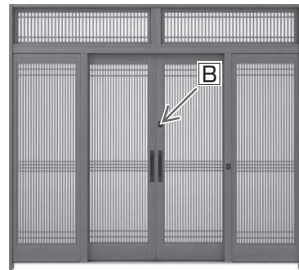
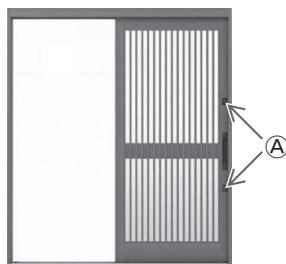
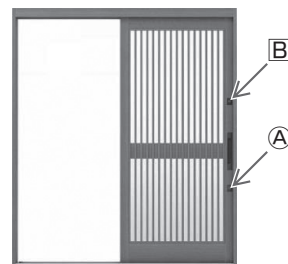
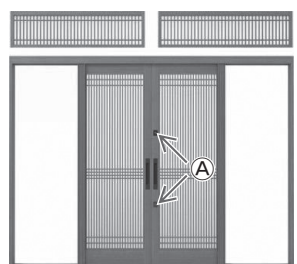
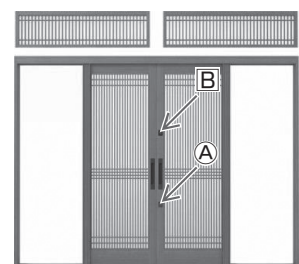
■ 引戸の開閉形式と戸先錠ケース取付位置(外観)

※戸先錠ケースには2タイプがあります。

引戸の開閉形式と戸先錠機構の組合せによる各タイプの戸先錠ケースの取付位置は、下表の通りです。
表中で記載しているタイプと品番との関係は下記の通りとします。

Ⓐ：HH-5K-17801A(ラッチ無)

Ⓑ：HH-5K-17805A(ラッチ付)

開閉形式 \ 戸先錠機構	ラッチ無	ラッチ付
2枚建(6尺巾)		
4枚建(9・12尺巾)		 ※左右戸先框はラッチ無使用
引分け(9・12尺巾)		
片引込み(6尺巾)		 ※下部はラッチ無使用
両引込み(9・12尺巾)		 ※下部はラッチ無使用

※部品の取りはずし・取り付け方は3～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

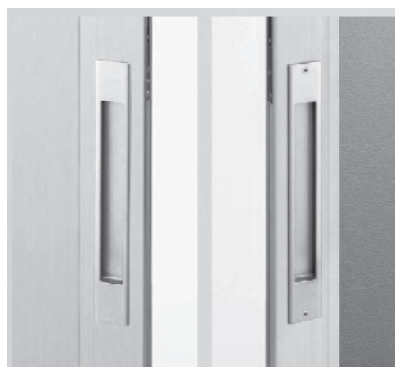
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

戸先側操作部について

※戸先錠には引戸を閉める際の跳ね返りを防止するラッチ機構の有無があり、それぞれ戸先側の操作部には下写真の通りの3タイプがあります。戸先錠を取りはずすには、これらを取りはずしてから行ってください。

ラッチ機構無

■ 舟底引手タイプ



室外側

室内側

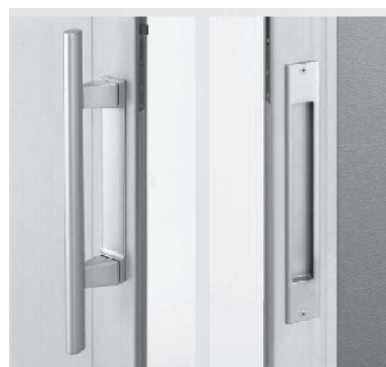
■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ

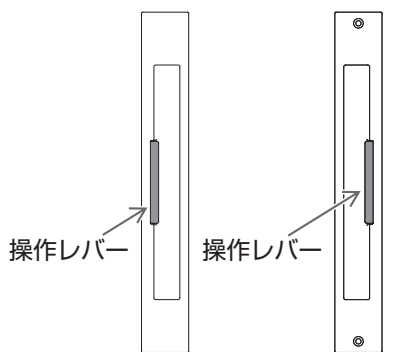


室外側

室内側

ラッチ機構付

■ 舟底引手タイプ



操作レバー

操作レバー

室外側

室内側

■ 室内外側バーハンドルタイプ



室外側

室内側

■ 室外側バーハンドルタイプ



操作レバー

室外側

室内側

※室内外側舟底引手共に操作レバー付です。

※ラッチ機構付の室内外側バーハンドルはともに左右に動きます。

※室外側バーハンドルは左右に動きます。
室内側舟底引手には操作レバーが付いています。

※戸先側操作部の取りはずし方は4ページを参照してください。

※部品の取り付け方は7～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

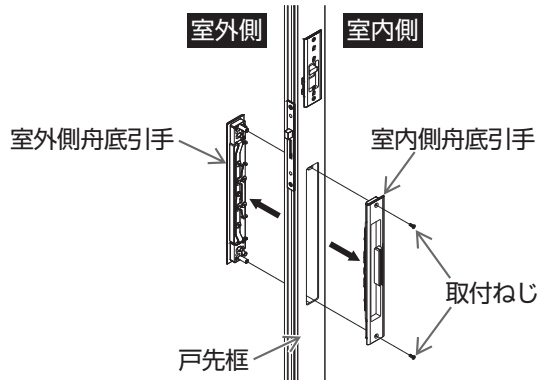
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 戸先側操作部の取りはずし

舟底引手タイプ



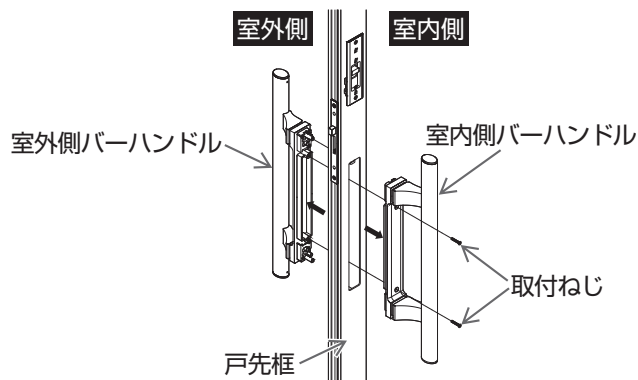
室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側舟底引手をはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側舟底引手がはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側舟底引手、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室内外側バーハンドルタイプ



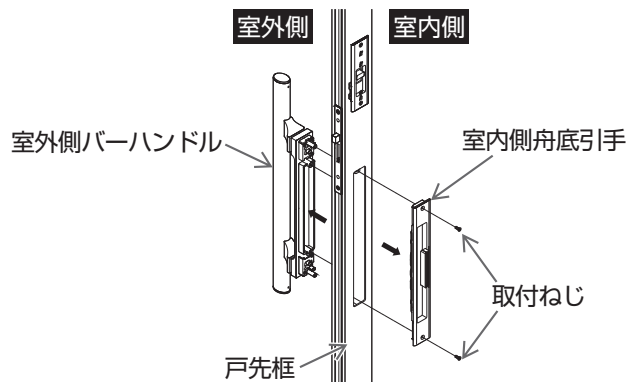
室内側よりプラスドライバーで室内側バーハンドルの取付ねじをはずし、室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側バーハンドルおよび室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

室外側バーハンドルタイプ



室内側よりプラスドライバーで室内側舟底引手の取付ねじをはずし、室内側舟底引手および室外側バーハンドルをはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側バーハンドルがはずれます。

落下にご注意ください。

※取りはずした室内側舟底引手および室外側バーハンドル、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※部品の取り付け方は7～11ページをご覧ください。

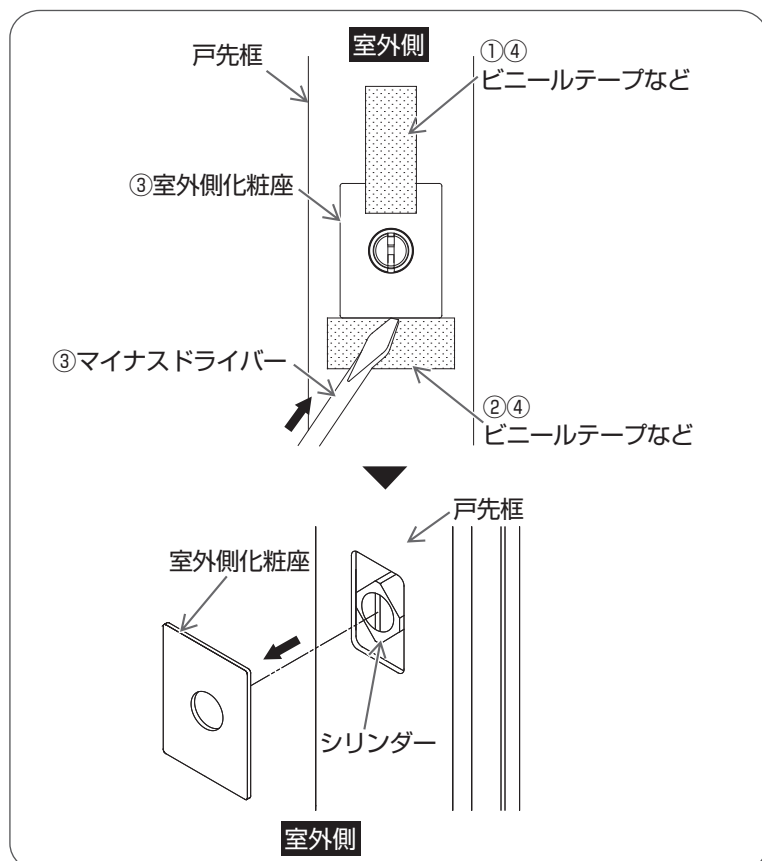
部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

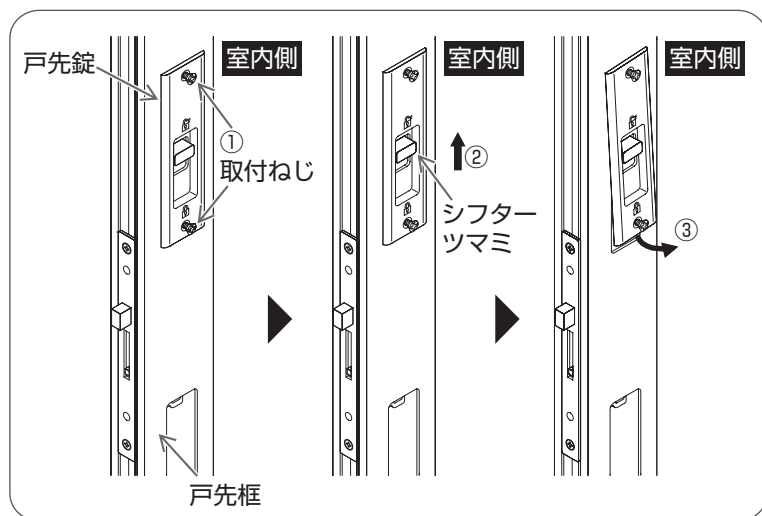
2 室外側化粧座の取りはずし

※本説明では、シリンダー用室外側化粧座で説明しています。ダミーシリンダー用室外側化粧座も作業は同じです。

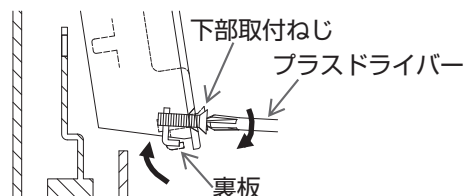


- ① 室外側化粧座上部を飛散防止用として、ビニールテープなどを仮止める。
- ※ 室外側化粧座をはずした際に、勢いよく飛び出し、顔などに当たりケガをするおそれがあります。必ず行ってください。
- ② 室外側化粧座下部の戸先框表面にキズ防止用として、ビニールテープなどを貼る。
- ③ 室外側化粧座の下側からマイナスドライバーを差し込み、室外側化粧座をはずす。
- ※ 取りはずした室外側化粧座は取り付けの際使用しますので、なくさないでください。
- ④ ビニールテープなどをはがす。

3 戸先錠の取りはずし



- ① 室内側よりプラスドライバーで戸先錠の取付ねじを固くなるまでゆるめる。
- ※ 取付ねじはゆるむだけで、はずれません。
- ② 戸先錠のシフターツマミを上げて戸先錠を上へスライドする。
- ③ 戸先錠の下部を引き出してはずす。
- ※ 引き出す際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、はずし易くなります。(下図参照)
- ※ 取りはずした戸先錠は取り付けの際使用しますので、なくさないでください。



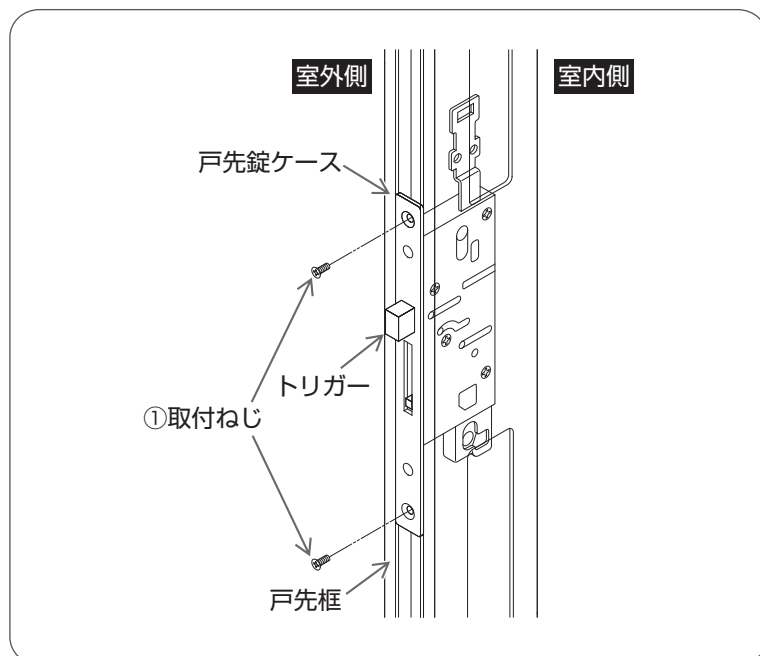
※部品の取り付け方は7～11ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

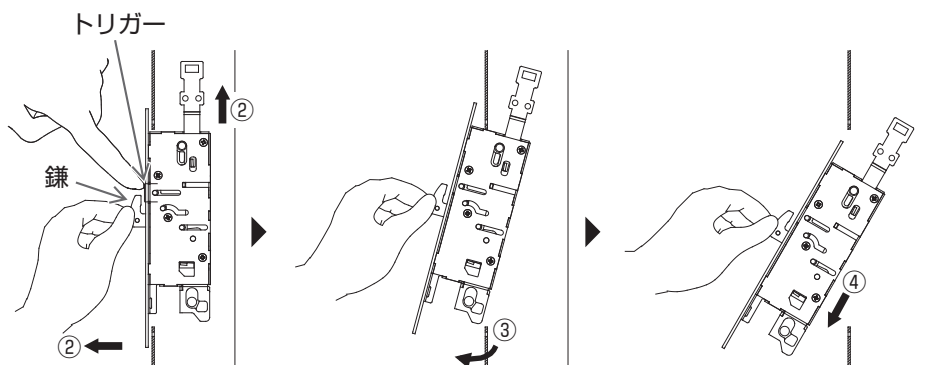
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

4 戸先錠ケースの取りはずし



- ① プラスドライバーで戸先錠ケースの取付ねじをはずす。
 - ② 戸先錠ケースのトリガーを押して鎌を出し、鎌を指でつまんで戸先錠ケースを戸先框から少し引き出して上にスライドする。
 - ③ 鎌を指でつまんだまま戸先錠ケースの下部を引き出す。
 - ④ 戸先錠ケースを斜めに下げて戸先錠ケースをはずす。
- ※②～④は取りはずし方がわかり易いように戸先框内部で説明しています。



※部品の取り付け方は7～11ページをご覧ください。

部品の取り付け方

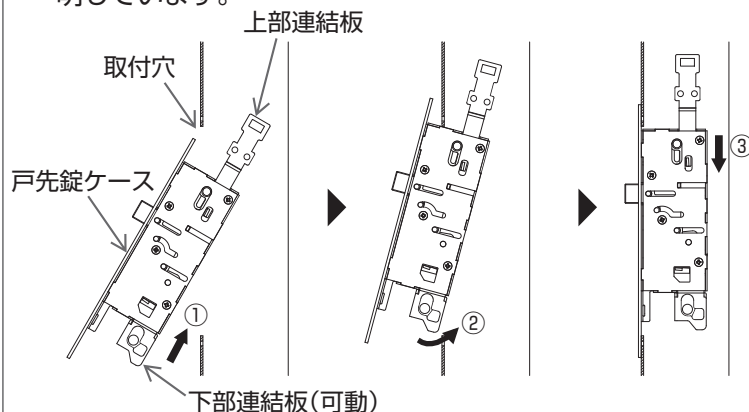
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

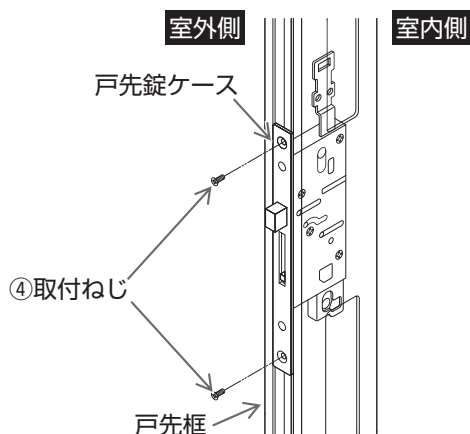
※本要領書では、ラッチ付で説明しています。ラッチ無も作業は同じです。

1 戸先錠ケースの取り付け

※①～③は取り付け方がわかり易いように戸先枠内部で説明しています。

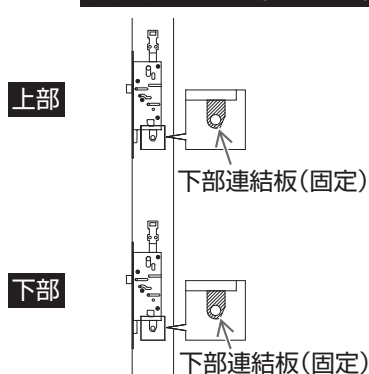


- ①戸先錠ケースの上部連結板を上にして取付穴に差し込む。
- ②戸先錠ケースの下部を取付穴に押し込む。
- ③戸先錠ケースを下にスライドする。
- ④プラスドライバーで戸先錠ケースの取付ねじをしめる。



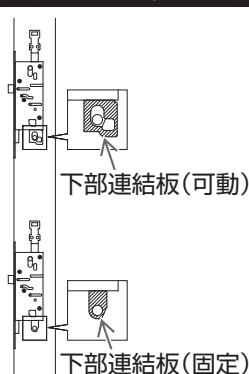
戸先錠2ロックの戸先錠ケースの取り付け

戸先錠2ロック(ラッチ無)



※戸先錠2ロック(ラッチ無)
上部：ラッチ無、下部：ラッチ無

戸先錠2ロック(ラッチ付)



※戸先錠2ロック(ラッチ付)
上部：ラッチ付、下部：ラッチ無

※ラッチ付の場合、上部と下部で取り付ける戸先錠ケースの種類が異なります。左図を参照して取り付けてください。
また、上部の戸先錠は脱着シフターツマミ付になります。

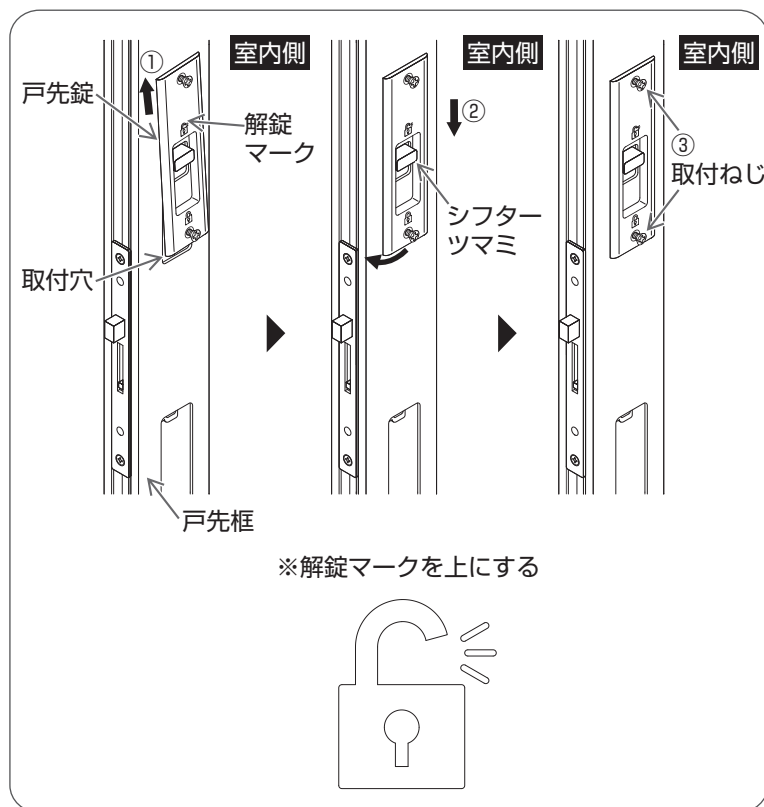
※部品の取りはずし方は3～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

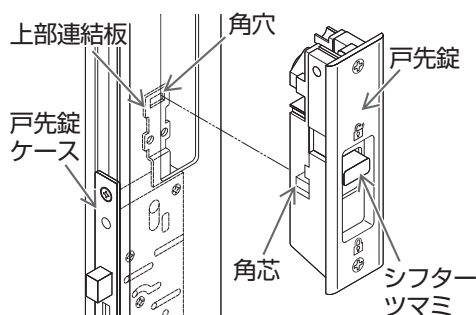
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

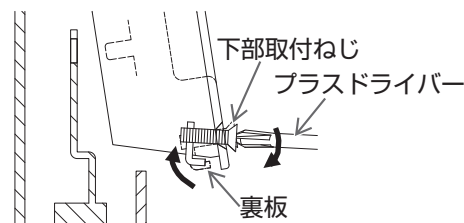
2 戸先錠の取り付け



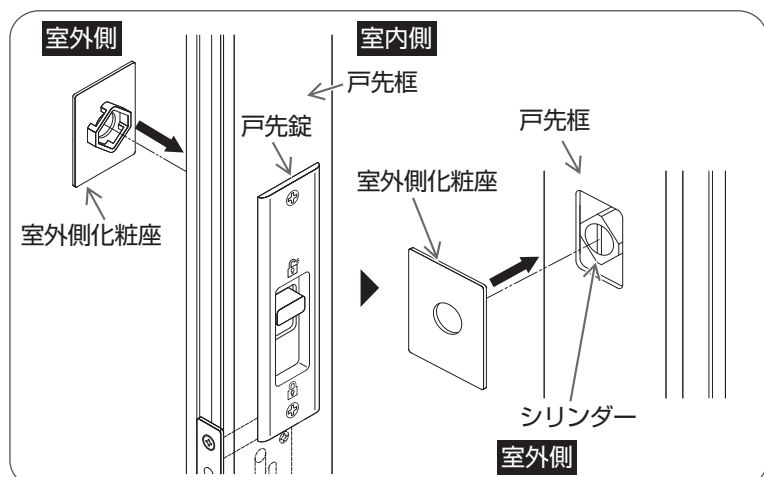
- ①室内側より戸先錠の「解錠マーク」を上にして戸先錠の上部を取付穴に差し込む。
※差し込む際、必ず戸先錠の角芯を戸先錠ケースの上部連結板の角穴に差し込んでください。(下図参照)



- ②戸先錠のシフターツマミを上げながら戸先錠の下部を押し込んで下にスライドする。
※押し込む際、プラスドライバーで下部取付ねじを下げると裏板が持ち上がり、押し込み易くなります。(下図参照)
- ③プラスドライバーで戸先錠の取付ねじをしめる。



3 室外側化粧座の取り付け



- 室外側より室外側化粧座を戸先錠のシリンダーに差し込む。
※室外側化粧座には上下はありません。

※部品の取りはずし方は3～6ページをご覧ください。

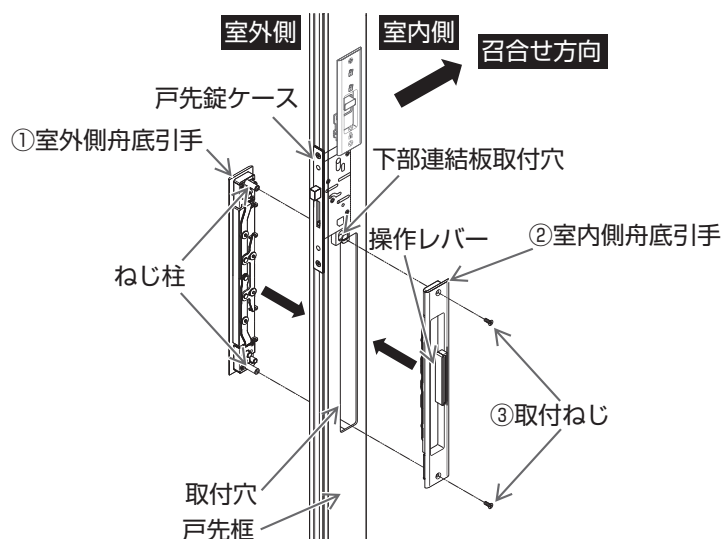
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

4 戸先側操作部の取り付け

舟底引手タイプ

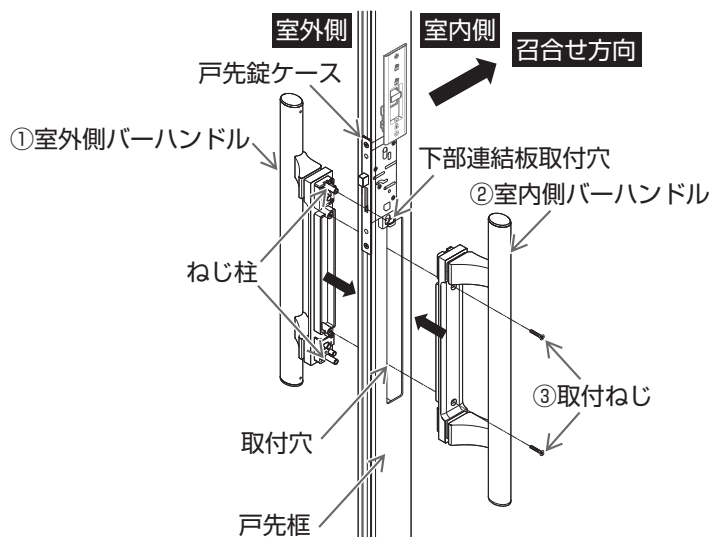


※舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

- ・操作レバーを押さずに取り付けてください。押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・取り付け時に操作レバーを召合せに向けて取り付けてください。(引戸の開閉形式による取付位置は11ページ参照)

- ① 室外側より室外側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室外側舟底引手のねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて室外側舟底引手を取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せに向け、室内側舟底引手を室外側舟底引手のねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

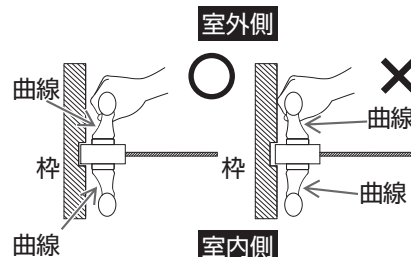
室内外側バーハンドルタイプ



※室外側バーハンドルタイプの取り付け方はP10を参照してください。

※室内外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室内外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
 - ・室内外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。(下図左参照)
- 逆方向に取り付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがあります。



- ① 室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側バーハンドルを室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③ 室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

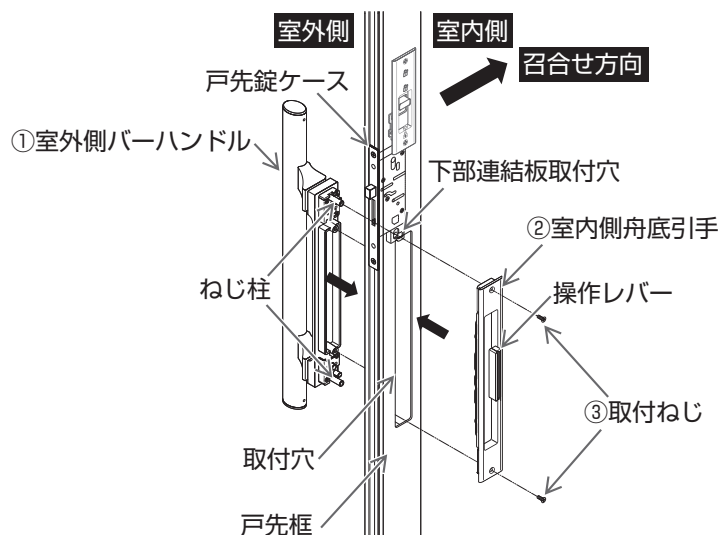
※部品の取りはずし方は3～6ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

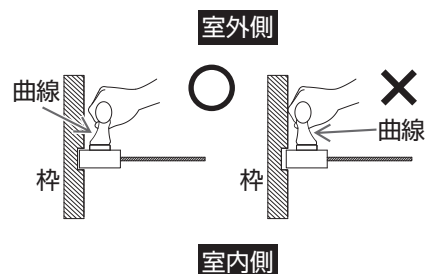
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

室外側バーハンドルタイプ



※室外側バーハンドルを取り付ける時の注意事項

- ・ラッチ付の室外側バーハンドルを召合せ方向に押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・室外側バーハンドルの曲線部を枠側に向けて取り付けてください。(下図参照)
逆方向に取り付けると引戸開閉時に手をはさむおそれがあります。



※室内側舟底引手(ラッチ付)を取り付ける時の注意事項

- ・操作レバーを押さずに取り付けください。押した状態で取り付けると戸先錠が作動不良を起こすおそれがあります。
- ・取り付け時に操作レバーを召合せ方向に向けて取り付けてください。(引戸の開閉形式による取付位置は11ページ参照)

- ①室外側より室外側バーハンドルのねじ柱を戸先錠ケースの下部連結板取付穴に合わせて、室外側バーハンドルを取付穴に差し込む。
- ②室内側より室内側舟底引手の操作レバーを召合せ方向に向け、室内側舟底引手を室外側バーハンドルのねじ柱に合わせて取付穴に差し込む。
- ③室内側よりプラスドライバーで取付ねじをしめる。

※部品の取りはずし方は3～6ページをご覧ください。

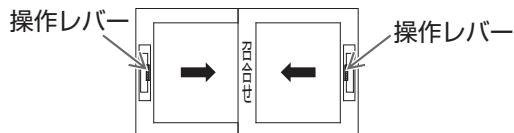
部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

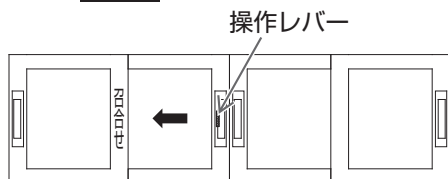
操作レバーの取付位置

2枚建



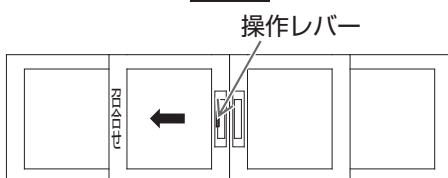
室内側

4枚建



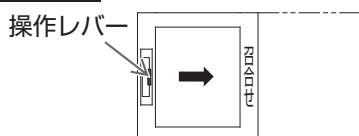
室内側

引分け



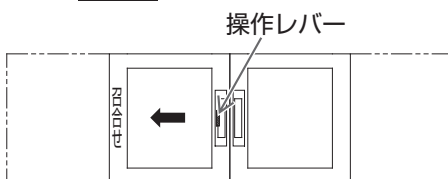
室内側

片引込み



室内側

両引込み



室内側

※両側戸先框および室内側右突合せ框には操作レバー付舟底引手は取り付けません。

※室内側右突合せ框には操作レバー付舟底引手は取り付けません。

※室内側右突合せ框には操作レバー付舟底引手は取り付けません。

部品の交換後のチェック



室外側化粧座 室内側舟底引手 室内側バーハンドル

- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 引手またはハンドルを動かして引戸を開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ シフターツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は3～6ページをご覧ください。